

JTB と Bounce がシステム連携を開始 ～宿泊施設の手荷物対応における業務負荷の軽減に向けて～

株式会社 JTB(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 青海 友、以下 JTB)と、Bounce Inc. (代表社員: Cody Candee、本社:米国カリフォルニア州サンフランシスコ、以下 Bounce)は、国際的な手荷物預かりプラットフォーム『Bounce』と JTB の手荷物配送プラットフォーム『LUGGAGE EXPRESS』のシステム連携を開始いたします。

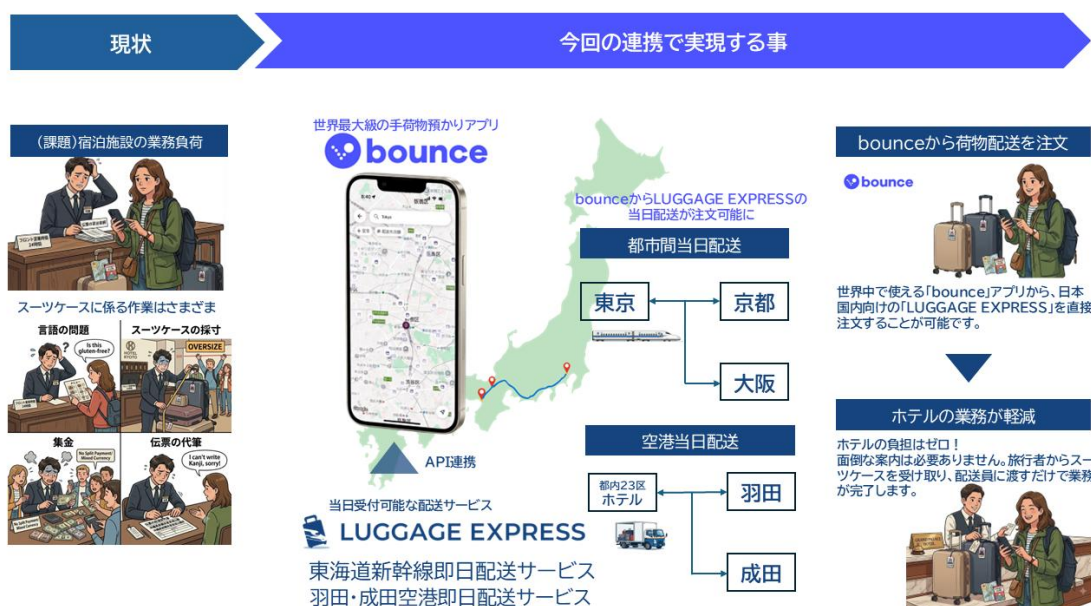
■ 連携の背景

訪日外国人観光客の増加に伴い、大型手荷物を伴う移動も急増しており、「手ぶら観光」へのニーズが急激に高まっています。一方で、宿泊施設においては、手荷物対応に伴う多言語での配送手配や伝票記入といった煩雑な対応が求められており、オペレーション負荷の増大が大きな課題となっています。

■ 連携の目的

本連携は、訪日外国人観光客の利便性向上と宿泊施設の業務負荷軽減を両立させることを目的としています。

訪日外国人観光客が使い慣れたグローバルアプリ上で、多言語での案内から手配・決済までを行えるため、ご自身のスマートフォンのみで手荷物の配送手配を完結できます。これにより、フロントでの煩雑なご案内や伝票手続きが不要となり、宿泊施設側は集荷の配送員へ手荷物を引き渡すのみで対応が完了します。2026 年 9 月のサービス開始に向け、本日より「東京・京都・大阪エリア」の宿泊施設を対象に、先行導入のご案内および募集を開始いたします。



■ 提供サービスの詳細(2026 年 9 月提供開始予定)

訪日外国人観光客は、『Bounce』アプリ内で「Bounce デリバリー」を選択し、預け先、配送日、届け先(宿泊施設や空港)、お荷物の個数をご入力の上、アプリ内で決済を済ませるだけで手配を完了できます。

訪日旅行者にご利用いただける主なサービスは以下の 2 つです。

① 東海道新幹線を活用した「当日長距離配送」(ゴールデンルート対応)

東京～京都・大阪間などの都市間移動において、朝に預けた手荷物を、夕方以降に別都市の宿泊施設で受け取ることができるサービスです。

② 到着・帰国時に便利な「当日空港配送」

東京 23 区内で預けた手荷物を直接羽田または成田空港へ配送し、搭乗前に空港のカウンターで受け取れるサービスです。

■ 各社の役割

本連携では、「手荷物預けアプリがそのまま荷物配送窓口になる」仕組みを実現するため、両社で以下の役割を担います。

<JTB(配送インフラと連携システムの提供)>

東海道新幹線による都市間の当日配送や、空港への直接配送に関する実務手配を行います。あわせて、パートナー企業がこの配送網をスムーズに利用するための連携システムを提供します。

<Bounce(旅行者の予約窓口と多言語対応)>

世界中の訪日旅行者が使い慣れた手荷物預けアプリ『Bounce』上に、手荷物配送の予約画面を提供します。予約の受付から多言語でのカスタマーサポート、決済まで、訪日旅行者との接点(窓口業務)を全面的に担います。

■ 『LUGGAGE EXPRESS』について

『LUGGAGE EXPRESS』は、JTB が展開する手荷物配送プラットフォームです。東海道新幹線を活用した都市間配送や、空港への直接配送といった物流インフラをシステム化し、国内外のさまざまな旅行サービスとスムーズに連携できる仕組みを提供しています。旅行者に「手ぶら観光」の価値を提供することで、利便性の向上とオーバーツーリズム課題の解決を目指します。

【関連リンク】『LUGGAGE EXPRESS』および宿泊施設からのお問い合わせ先

<https://www.luggage-express-service.com/>

■ 『Bounce』について

『Bounce(バウンス)』は、旅行中や外出先で荷物を一時的に預けたい方と、空きスペースを有効活用したい店舗・施設をつなぐ、世界最大級※の手荷物預かりプラットフォームです。2019 年に米国サンフランシスコで創業し、現在は世界 4,000 都市・32,000 拠点以上で展開。日本国内では東京・大阪・京都・福岡など 650 都市・5,500 拠点以上でサービスを提供しています。

【関連リンク】Bounce 公式サイト：<https://ja.bounce.com/>

■ 今後の展望

今後は民泊プラットフォームなどへの連携アプローチも強化していきます。旅行のあらゆるタッチポイントで手荷物配送の選択肢を提供するプラットフォーム展開を加速してまいります。

※「世界最大」の表現は、Bounce が 2025 年 7 月時点で実施した独自調査に基づきます。

■ 報道関係の方からの問合せ先

JTB 広報室代表メールアドレス jtb0074_all@jtb.com